



志を立てる第一歩！

～ふるさとうらやす立志塾 in 南三陸・石巻～



津波によって全てを流され、まるで草原のような南三陸町でのグループ踏査。

南三陸町での研修



大森創作太鼓「旭ヶ浦」の皆さんとの交流。



南三陸町では、同世代である高校生語り部団体「まずもって」の方々と一緒に街を歩き、震災当時の様子や現在の生活についてお話を伺いました。家を流され、親しい人を失いながらも、大好きな町のために力を尽くす熱い思いと行動力に心を打たれました。夜は、津波に負けず、町に勇気と元気を与えてきた大森創作太鼓「旭ヶ浦」の皆さんと交流しました。

8月末に研修報告会が開催され、塾生たちは被災地を実際に歩き、見て、聴いて、感じたことや考えたことを自分たちの言葉で発表しました。テレビや新聞では報道されない被災地の現状や被災者の思いを盛り込んだ報告は、9月の浦安市総合防災訓練においても紹介され、3月の復興祭においても展示される予定です。

○研修の成果

各学校で生徒会役員や学年・学級役員を務め、リーダーとして活躍している塾生たちには、これからも研修の成果を学校生活等で生かして、より一層成長されることを願っています。

(教育政策課)

○事前研修

未来のリーダーの育成をめざす「ふるさとうらやす立志塾」も今年で3回目を迎えました。各中学校から集まった24名の塾生は、宮城県南三陸町及び石巻市を訪れ、貴重な体験と有意義な学びを通してひとまわり大きく成長してきました。

今まで知らなかった浦安の歴史や先人たちの思い、災害との闘いについて学んだり、石巻市の被災状況や復興への努力について説明を聴いたりしました。また、リーダーとしての心得や被災地の予備知識について仲間と意見を交わし、学びを深め、交流を図りました。



津波と火災で罹災したため校舎にシートがかけられた門脇小での石巻日日新聞の方のお話。

石巻市での研修

石巻市では、逆境に負けず、復興に努力されている地元の方々やボランティアの皆さんと交流しました。「どんなに辛くても笑顔を絶やさず、前向きに生きること。」「自分のことだけでなく、人のためにできることを考え、実践すること。」という重く、そして温かい言葉をいただきました。



命懸けの救助を行った石巻消防署の



仮設渡波第一団地の皆さんとの交流。方々のお話。

教育情報誌 うらやすスタイル

豊かに生きる浦安っ子の育成のためには、わたしたち大人(学校・家庭・地域・行政)が手を携え、社会全体で子どもたちの豊かな学びやかかわりを支えていくことが大切です。教育情報誌「うらやすスタイル」は、子育て・教育につ

いて、みんなで考え実践していくために、学校教育をはじめ、生涯学習の取組、地域と子どもとのかかわりなどの教育情報を発信していきます。